

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	大崎電気工業株式会社	事業所名	埼玉事業所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	契約している物流部門に関するCO2排出量を算出を行っている。 協力会社への輸送について購入先業者からの直送化を実施（直接納入を行うことでの排出削減量を月次集計としている）			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内物流管理システムによる適格な輸送量把握による、輸送協力会社への情報展開による適正便数の管理を実施			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	社内ルールに基づき輸送委託業者の評価項目に追加を検討する。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	輸送業者との契約書内容についての定期確認を実施している。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ( )	部材在庫管理を協力会社へ集約(VMI)し、社内への搬入輸送回数を削減			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	商品の荷姿により通い箱の梱包方法の改善を継続実施。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 （03）輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	積載量に応じて、2t、4t、10tと車両を使い分けを継続	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 （01）発注時間及び配送時間のルール化	営業からの情報を元に前日または当日での手配を継続	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 （ ）	部品供給メーカーへミルクランを継続実施中	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 （04）周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	トラック待機場所の増設（10t×4台分）	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 （ ）	鉄道輸送によるモーダルシフトを推進継続	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 （ ）	社内物流管理システムによる適格な輸送量把握による、輸送協力会社への情報展開による適正便数の管理を実施	○	○	○